

アベ政治を  
許さず

参議院議員（比例代表）

2015年7月28日 Vol.2

# なたにや正義

## 安法制関連ニュース



### 特別委で審議が始まる

本日7月28日より参院「我が国及び国際社会の平和安全法制に関する特別委員会」で安全保障関連法案の審議が始まりました。民主党からは福山哲郎、小川敏夫、大塚耕平、大野元裕の各議員が質問に立ち、安倍総理、中谷防衛大臣、岸田外務大臣らの見解をたどしました。

福山議員は、「この法案は『戦争』に参加することか」と見解を質したところ、安倍総理は「新三要件に合致すれば、存立危機事態を排除する目的で攻撃する」と答弁するのみでした。また、磯崎陽輔首相補佐官が「法的安定性は関係ない」等と発言したことに対して、安倍総理の任命責任と磯崎補佐官の更迭を要求しました（民主党は特別委に出席を要求して徹底追及する方針です）。

小川敏夫議員は、「他国の領域での武力行使は違憲であるのに、なぜホルムズ海峡では例外が認められるのか。憲法よりも法案解釈が上なのか」と質したのに対し、安倍総理は「一般的には海外派兵は認められない。新三要件を満たしていれば必要最小限度で武力行使が認められる」と相変わらずの不可解な答弁に終始しました。

大塚議員は、衆議院での審議内容を取り上げ、「米国の先制攻撃を追認することや、日本に対して武力攻撃をしていない、その意思がない国に対しても武力行使が可能と答弁したことは大変問題である」と指摘しました。

大野議員は、具体的な立法事実が出されていないことが国民に理解が進んでいないと指摘。さらに公明党の太田大臣に対し、世論調査で「公明党支持者94%がこの法案を支持しない」と結果が出たことについて見解を求めたところ、太田大臣からは「党の代表ではないが、山口代表が説明を行

っている段階で丁寧に説明することが必要」と答弁するのみでした。

### なたにやの「今日のひと言」

安倍総理の「国民に理解して欲しい」という言葉が本当ならば、法案のすべての項目について丁寧に国民に説明する必要があるということが、多くの議員の質問で明らかになりました。国民、自衛隊のリスクについてもそうです。

また、例えば100人が「憲法違反である」と指摘しても、安倍総理が「合憲である」と主張することが驕りの表れであることが露呈しました。

そして、小川議員が指摘したフジテレビ、自民党のネット動画の「母屋が火事」云々の例え話は、あまりにも浅はかであり、国民軽視であることも明らかになりました。

明日、明後日の審議もしっかりと議論経過を注視していきたいと思えます。

### 今後の予定

平和安全特別委員会は本日に引き続き明日29日(水)に総括審議、30日(木)に集中審議が9:00~17:00の予定で開催されます。いずれも安倍総理も出席する予定です。ネット中継とNHKでの中継も予定されています。

29日は民主党の質疑時間はありませんが、他党派（他党）の質疑はあります。

30日の民主党の質疑時間は10時34分から昼食休憩を挟んで13時35分迄で、広田一議員、前川清成議員が質疑に立つ予定です。

発行：参議院議員 **なたにや正義** 事務所

〒100-8962 千代田区永田町2-1-1

参議院議員会館409号室

TEL: 03-6550-0409

FAX: 03-6551-0409

masayoshi\_natania@sangiin.go.jp

http://natania.jp/